



発行者 松尾 和幸
発行所 関東あまたか会
事務局E-mail akimatsuno@mac.com
☎090-3272-4383

関東あまたか会の活動

関東あまたか会会長 松尾 和幸 (高16)



今年、昭和100年に当たり、私達昭和人は、昭和に換算は、昭和に換算すると何かと分かり易く感じます。関東あまたか会は、昭和58年発足しました。設立して41年過ぎましたが、当会がどんな活動をしていくかを告知でない方が多いのではと思います、改めて説明させていただきます。

6月に、天高を卒業して関東へ就職・進学してきた新卒者の歓迎会を開催します。4月に関東に来て、周りは皆、天草弁が通じない人ばかり、この新卒者歓迎会で、天草弁で喋れたと喜んでいました。

10月に、「総会・友好の集い」を開催。総会・友好の集いの特色は、主役は会員であり、参加者全員に登壇いただいて、一言話していただく事になっています。昨年は、2回生から76回生と74歳の年齢差が一堂に会しました。

2月に、大学生の卒業祝を、3月下旬に、観桜会を外濠公園にて開催します。これら全ての行事には、どなたでも参加できますので、是非ご参加下さい。

各種の行事をスムーズに行えるように、役員会を適時に開催しています。

また、年2回(2月と9月)会報を発行しています。会員の皆様全員へ連絡できるのは、この会報のみです。皆さんの寄稿をお待ちしていますので、何でも結構です。是非ご寄稿ください。

ホームページも開設しています。12頁に、ホームページについて説明してありますので、ご覧ください。



池の平ホテルツアー

雛鵬の道標として

熊本県立天草高等学校校長 岩岸 毅 (高38)



熊本ではこの夏、8月の31日間のうち、35度を超えた日がある。26日、牛深でも21日を数え、体育館での行事も控えざるを得ないような「暑さ」となりました。また、年の瀬の迫るここ数日は、天草にも風花の舞う予報の出るほどの寒波が押し寄せています。四季の移ろいと言うには、余りにも峻烈で趣に欠ける近年の自然の有り様ですが、天高の雛鵬たちは、どのような状況にあろうと、それぞれの目標に向かって実によく頑張っています。部活動では、男子ソフトボールの4名が国民スポーツ大会(旧国体)の熊本県チーム代表に選ばれ、全国第2位の立役者として活躍したことを筆頭に、天高男子ソフトボールチームとしても県大会準優勝という結果を収めました。水泳部は、県新人選において男子50m背泳ぎで2位入賞のほか多くの種目で上位入賞を果たし九州大会への出場へとつなげました。陸上競技部では、県新人戦で2年男子100mや2年女子棒高跳びで2位入賞を果たすなどの成績を残しています。また科

学部は、神戸で開催されたSSH生徒研究発表会において念願のポスター発表賞を頂くなど、発表会等で数多く表彰されています。吹奏楽部も先般開催されました県の吹奏楽コンクールにおいて、金賞受賞の栄誉に輝きました。

国際交流においても、韓国土坪高校との訪問交流が10年目を迎え、7月に土坪高校からの訪問団の受け入れ、10月には本校から土坪高校への訪問団の派遣をするなど、相互交流を通して友好を深めました。さらに、SSHの研修として、8月にシンガポールの南洋理工大学での研究発表や現地研修を行ったほか、12月には連携協定を締結している台湾の静宜大学での研修や、国立中興高等学校での研究発表や交流活動を実施するなど、天高ならではのグローバルな体験活動を展開し、主体性と豊かな感性とコミュニケーション能力を持った人材の育成にも力を入れています。私も団長として現地に赴いたのですが、何よりも驚きであったのが、参加した生徒たちが韓国語や英語を用いて、現地の生徒たちとごく自然にコミュニケーションを図っており、言葉や文化の違いをいとも簡単に乗り越えて、



韓国土坪高校訪問 (2024年10月)

友情の絆を結んでいることでした。参加した生徒に「いつ韓国語を勉強したのですか」と問うたところ、「この前の交流のとき韓国語で話したいと強く感じたので、時間を見つけて自分で勉強しました」という答え。改めて、主体性を持つて取り組むことの大切さや、天高生の無限の可能性を強く感じた次第です。

いよいよ3学期を迎え、3年生は単立ちの時を迎えようとしています。それぞれの進路目標の実現のために、今まさに翼に力を蓄え、「飛翔」を習っているただ中です。

雛鵬の中には、関東の地を目指している者もおります。旅立つ鳥たちにとって、輝く星が旅の道標となるように、そして時には心安まる宿り木のように、関東の諸先輩がおられることを申し伝えておきます。若鳥たちが其方へ伺った際には、何卒よろしくお願いいたします。

令和6年度総会・友好の集い

江頭 眞喜子 (高28)

10月26日(土)、スクワール麴町において「創立41周年・令和6年度第36回関東あまたか会総会・友好の集い」を開催しました。出席者は78名。高2回生から高76回生まで幅広い年齢層の同窓生が集まり、受け付けの場所では、再会の喜びの声が、聞こえてきました。そしてあっという間の3時間が過ぎました。

総会では、松野事務局長の司会の下、物故会員27名へ黙祷を捧げられました。家族の事情で会長を続けられなくなった山中麗子会長(高21)に代えて、松尾和幸名誉会長(高16)を会長に選出し、続いて来賓祝辞を天草高校教頭の西岡充孝先生から頂戴し、さらに来賓5名、会友5名から挨拶をいただきました。

西岡教頭先生からは、母校がシंगाポールの南洋理工大学と連携を進めていることやスーパーサイエンスハイスクール(SSH)に選ばれた高校として研究活動を行っていることのお話がありました。会務・会計報告と役員・学年幹事の紹介、記念写真



来賓祝辞：西岡充孝天草高校教頭先生
韓国、シンガポール、台湾などとの活発な国際交流、スポーツ部の活躍、科学研究の成果など、母校の現状を説明されました。



宝塚歌劇団「天路そら」さん独唱
宝塚歌劇団「天路そら」さん(高65)は、元活躍して「すみれの花咲く頃」を歌ってくれました。

撮影が終わると、次はいよいよ友好の集いです。

山田清第7代会長(高12)の乾杯の音頭で幕開けた友好の集いで、星野悦子副会長(高18)と吉村いつみさん(高25)に司会を引き継ぎました。まず卒寿、傘寿、喜寿を迎えられた方々、続いて新入会員、在学生を紹介しました。ここで宝塚歌劇団を一昨年卒業(退団)した田中舞夏さん(宝塚では「天路そら」で男役)が「すみれの花咲く頃」を披露。澄み渡る歌声にうっとりとした耳を傾けた方も多かったようです。次に中京支部から参加された会友の吉田和美さん(高17)によりステージ上での「似顔絵描き」が行われました。吉田さんには総会案内用のイラスト(会報第46号・47号)も提供して頂いています。「似顔絵描き」のモデルは、(参加者中一番の先輩方)近藤睦枝さん(高2)、堀青子さん(高4)、岩崎良昭さん



恒例の牛深ハイヤ踊り
今や、牛深ハイヤ踊りは、関東あまたか会の恒例の踊りとなりました。



似顔絵
名古屋支部副会長吉田和美(高17)さんによる。似顔絵。初めて参加されて、似顔絵のモデルに選ばれました近藤睦枝さん(高2)

(高7)・信子さん御夫妻の3組。速く、軽やかな筆の運びに感嘆の声があげられました。完成作品は、記念に3組のみなさまに贈呈されました。自己紹介コーナーは全員がマイクをもって一言述べる時間です。長寿祝いの皆さまにはとらやの紅白饅頭が贈呈されました。78名全員がしゃべり終わると、音楽に合わせて大きな輪をつくり、「牛深ハイヤ節」を踊りました。そして、フルートの伴奏に合わせて「ふるさと」を天草を思い浮かべながら歌い、最後は、校歌を4番まで斉唱しました。あまたか合唱団の歌声が、力強く会場に響き渡った瞬間でした。毎回人気の天草物産販売コーナーは今年も賑わいました(詳しくは次頁を参照)。役員は何ヶ月も前から準備して、



令和6年度関東あまたか会総会・友好の集い
令和6年10月26日(土)
於：スクワール麴町

それぞれの役割を果たすことができました。総会後にいただいた感想では、久しぶりに懐かしい話ができ、思いがけず「すみれの花」が聴けて最高によかった、楽しい時間があったという間に終わってしまった、と嬉し

い言葉を聞くことができました。唐津孝さん(高9)からは、自分より先輩の方が元気なのにびっくり、自分もあんなれば良いなあーと。参加の皆さまが、手を振って笑顔でお帰りになつたことが印象に残りました。

出席者の感想は！

80年の空白を忘れ

近藤（安田） 陸枝（高2）

今回、初めて関東あまたか会に参加させていただきました。2回生の近藤（旧姓安田、小宮地出身）でございます。初参加とはいえ、旧交を温めた和やかな懇談に終始、80年近くの長い時の経過を忘れ、天草で過ごした当時の空間に一気に遡る思いがいたしました。当日の受付の方々、隣席の堀様、西川様、同じ円卓の方々等、お一人お一人と向かい合わせていただく度に、ほぼ初対面に御近い方々といえども懐かしさを全身で感じる思いでございました。

また当日は、大変お心遣いをいただきました。思いがけず壇上で似顔絵を吉田和美画伯に描いていただきました。嬉しいサプライズで、早速、自宅に有り難く飾らせていただいております。来客の度にその似顔絵作品を見ていただき、同時にふるさと自慢をしている日々でございます。3時間の会合の中で会話が弾む



自己紹介

左から唐津様・山田様・藤枝様（高9）、堀様（高4）、近藤様（高2）、岩崎御夫妻（高7）

10数年振りに参加

西田 勝年（高12）

10数年振りに参加し、総会・友好の集いの盛り上がりを感じました。それは、急速な時代の変化に即応した以下のような運営・組織体制を構築されているからだと思います。

第一に運営状況、活動状況の透明化を図り、情報の共有化をされておられることです。ホームページに、企画の段階からの取り組み状況など掲載し、逐次、同窓生に関東あまたか会の活動状況がわかるようになっていくこと、素晴らしいですね。

第二に急速にデジタル化が進んで



自己紹介

左から濱坂様（高12）、清原様・大塚様（高11）、岩崎様・山田様（高12）



懇談中の12回生

今年もいつものメンバーに天草から西田様、宮城から岩崎様が参加され、盛り上がっています。

今年度の関東あまたか会の総会・友好の集いは、参加者78名、年配者から学生さんまで幅広い年代の方々に参加され活況があつたことは以上のような日常の活動体制、組織体制

天草物産展の感想

倉田 蕃造（高16）

が礎になっているからだと思います。今回の「友好の集い」の感想です。一つには、学生生活、将来の夢をかたられた現役の学生さん、昨年宝塚を卒業されたのびやかな歌声で「すみれの花咲く頃」を披露された田中さん、東京から天草のゲストハウスを立ち上げられている西山さんなど、若い方々の息吹を感じました。

二つには、中京支部から参加された吉田和美さんより大先輩3組4人の「似顔絵描き」が行われ贈呈されました。吉田和美さんは、私がかつて、運営にかかわっていた頃、霞が関ビルの会場にギターをもつて駆けつけ、ギター演奏で盛り上げて下さいました。

三つには、卒業年次ごと壇上で一言は、まさに、全員参加の友好の集い！との感想を持ちました。全員の話が終わると「靴がなる」の歌に合わせて大きな輪を作り「牛深ハイヤ節」を踊り、「故郷」を歌いながら着席し、最後は校歌で更に盛り上がり、胸が熱くなりました。役員皆さんのご苦勞に感謝です。

総会当日の朝は、私は物産展のコーナーで物産品を陳列するのが担当です。陳列する商品を見ると農産物や海産物で正に天草の物産品に値する商品で、陳列に相応しい商品ばかりだと思います。それは鱈のみりん干し、



天草物産展販売

例年とおりに天草物産展は盛況で、完売しました。ご協力ありがとうございました。物産展のお手伝いを募集します。（写真は、今回のがなく昨年の写真）

私の天高時代

旧校舎時代 ～30回生以前～



野中 昭信
(高27)

半世紀前の微笑ましい思い出話

卒業して既に約50年。この間に大学進学、卒業、就職、結婚、そして子供の成長と両親の他界など、悲喜こもごもの出来事があり、過去を振り返ることもなく過ごしてきた。ただ、天草は私の故郷であり原点としていつも存在していた。故に両親が健在な時も、その後も3人の子供たちを連れて、頻りに帰郷し、子供たちや孫たちも第二の故郷と感じてくれるように努めてきた。令和6年3月で会社生活を終え、半世紀前の高校時代を聞かれても不確かな記憶しかないが、思いつくままに少しだけ記述してみる。唯一懸命に取り組んだ3年間の野球の部活も最後の夏は「シード校に1回戦コールド負け」と残念な結果で終わり他に誇れるようなものもない。それでも高校時代を振り返ると嫌な思い出はなく、懐かしい思い出だけが蘇ってくる。厳しかった体育の必須課題（長距離マラソン、円盤投げ30m、鉄棒蹴上がり、バク転など）や不合理な罰（遅刻は放課後の草むしり、理由不明なグラウンド一周の兎跳びなど）も、半世紀も過ぎると全てが微笑ましい思い出話となっている。

卒業して既に約50年。この間に大学進学、卒業、就職、結婚、そして子供の成長と両親の他界など、悲喜こもごもの出来事があり、過去を振り返ることもなく過ごしてきた。ただ、天草は私の故郷であり原点としていつも存在していた。故に両親が健在な時も、その後も3人の子供たちを連れて、頻りに帰郷し、子供たちや孫たちも第二の故郷と感じてくれるように努めてきた。令和6年3月で会社生活を終え、半世紀前の高校時代を聞かれても不確かな記憶しかないが、思いつくままに少しだけ記述してみる。唯一懸命に取り組んだ3年間の野球の部活も最後の夏は「シード校に1回戦コールド負け」と残念な結果で終わり他に誇れるようなものもない。それでも高校時代を振り返ると嫌な思い出はなく、懐かしい思い出だけが蘇ってくる。厳しかった体育の必須課題（長距離マラソン、円盤投げ30m、鉄棒蹴上がり、バク転など）や不合理な罰（遅刻は放課後の草むしり、理由不明なグラウンド一周の兎跳びなど）も、半世紀も過ぎると全てが微笑ましい思い出話となっている。



大塚 延子
(高16)

天高に入ったからある今の私

中学時代バレーボールをしていた私は、3年の8月まで練習練習の日々。そのため模擬テストの成績が悪く、9月から猛勉強。やっとの高校合格でした。入学式で「延ちゃん、元気しとったんや？」と声をかけたのは松尾和幸会長。富岡小以来の再会です。1年時、全校クラス対抗バレーボール大会で優勝。

中学時代ライバル校のアタッカー林さん、私がセッター、他にも経験者が数名いたからでした。担任の西先生も大喜び。運動会のフォークダンスでは、女子が少ないため1年男子は出れず、悔しがっていました。クラブ活動では江崎先生のダンス部に入りました。3年時、先生の母校、日本女子体育大から約20名の学生が来て演技を披露してくれ、技術の素晴らしさに驚き、リトミック体操に感動しました。その影響で私を含めダンス部の4名が同大に進学しました。大学時代、東京オリンピックの前夜祭に出るため、琴曲「六段の調」に合わせたダンスを厳しく教えられました。大変でしたが良い思い出です。天高に入ったからこそ進学でき、今の私があると思っています。



福田 いく子
(高20)

怖かった通学路、生涯の友を得た卓球部

私は城河原の出身でバス通学でした。冬は日が暮れるのが早く、部活が終わってバス停で降りる時は真っ暗になっています。バスを降りてから自宅まで歩くのですが、途中家もなく街灯もなく、道路の両側をうっそうとした木が茂っている場所を通るので、何かが出てきそうで怖くて走って帰っていました。時々母がバス停まで迎えに来てくれて、満天の星空のもと母といろいろな話をしながら帰った日々が懐かしいです。部活は卓球部です。夏の合宿はランニングで始まり明徳寺の石段を駆け上り駆け下りました。鏡の前での素振り等基礎練習を繰り返しました。夕方銭湯に行って帰りに蜂蜜饅頭に立ちよったりしました。卓球部の友人とは、卒業後も夏休み等で帰省するたびに、当時の錦戸卓球センターに通い、ラリーで汗を流しました。出会って60年程たちますが、今でも大切な友人です。1年時春休みの長崎への1泊2日のクラス旅行、夜景がとても綺麗でした。東京への修学旅行、大空にスックと伸びた東京タワーに、魅せられました。楽しい充実した3年間でした。

クラブ赤石

赤石 洋子 (本渡出身)



〒104-0061 東京都中央区銀座8-8-7
第3ソエアレ・ド銀座ビル5階
TEL : 03-3573-3994
携帯 : 090-5325-9377
E-Mail: y_akaisi@f2.dion.ne.jp

(銀座8丁目中央通り 博品館並び5軒先)

ストと一緒に楽しむ結婚式を！

サンタスティックウェディング

ゲストのお客様と一緒に楽しみ、おもてなしを第一に考えた結婚式です。是非ご相談ください。
→プラン内容など詳しくはホームページをご覧ください。→

http://red-happiness.com

アマクササンタ カミング ホテル
〒863-0043 熊本県天草市亀場町亀川 74-3
TEL 0969-22-0100 FAX 0969-24-3472

警備に関することはなんでも相談せんね!

(株)機動警備

代表取締役社長
山下 純二
(天高19回生 姫戸出身)

電話 : 048-728-5530
FAX : 048-728-8085



思い出の下宿生活

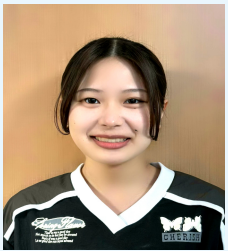
私の天高時代は、学校内での思い出も多くあるが、校外のことも多く思い出に残っている。中でも2年生までの下宿時代は、それまでの生活とは大きく異なっていたので、思い出深いものである。入学当初は寮に入っていたが、私には合わなかったので、1週間で早々にまだ空きのあった亀川の下宿に移った。当時はミステリーに凝っていたので、下宿といえば、シャーロックホームズや戦前の推理小説の主人公のイメージがあり、大人になった気がしたものだった。実際、下宿は鍵のかかる個室であったし、食事やお風呂、大家さんの住居とは別棟で、半一人暮らしのような生活だった。時間の管理を自分の好きにできる自由さもあり、楽しかった。今でも旅行の計画や一日のスケジュールなどを考えるのが好きだし、それをうまく実行できた時は嬉しいが、そのような生活はこの下宿生活で培われたと思う。また、牛深から本渡へ出てきたので、いろいろと物珍しく、休日には自転車で本町や五和町二江、新和町などへ出かけたこともそれまで知らなかった天草を知るいい経験になった。

中村 蓮
(高62)



私の天高時代

新校舎時代 ~31回生以降~



天草に貢献できる仕事を目指す

天草から上京してきて、10か月が経ちました。一人暮らしの毎日で寂しくなった時は、高校時代の写真を見たり、家族と電話したりして頑張っています。私は高校時代に、やりたい事をたくさんやりました。吹奏楽や放送委員会、応援団、塾にも行かせてもらい勉強も頑張りました。人と違うことがやりたかった私は、天草ケーブルネットワークで高校生キャスターの活動をしていました。テレビやラジオで、天草の話題や熊本ニュースをお伝えしていました。視聴者の方に声をかけていただいたり、似顔絵を描いてプレゼントしていただいたりしたことがとても嬉しかったことを覚えています。この活動を通して、天草をさらに好きになり、天草に貢献できる仕事をしたいと考えるようになりました。今は大学で放射線について学んでいます。将来は熊本に戻り、地域医療に貢献できる診療放射線技師になりたいと考えています。高校時代にたくさんの経験をするのができたのは、友達や先生、家族のたくさんの人のおかげです。大学生の今も今しか出来ないこと、色々な経験をしたいです。

吉田 綾乃
(高76)



朝課外の記憶

天草高校には朝課外がありました。「課外」という名称でしたが、朝課外はほぼ全員が出席していましたし、部活を引退して大学受験を控える高3生のほとんどは夕課外も受けていたと記憶しています。私も、朝は眠い目を擦りながら、夜は空腹を我慢しながら、なんとか参加していました。このような課外は別に天草高校だけの珍しいことではないものの、九州特有の文化だったようで、上京後に話すと驚かれる話題でした。調べてみると、旧制五高で教員として働いていた夏目漱石も朝課外を担当していたようです。先生方もその分長く働くことになるので、私も社会人となった今はその大変さ分かる気がします。先生方には心からお疲れさまでした、ありがとうございました、当時は遅刻したり居眠りしたりしてすみませんと言いたいです。高校を卒業してから10年以上経った2023年、熊本県内のすべての高校で朝課外が廃止されたとのニュースに接しました。これも働き方改革として必要なことなのでしょう。同時に、夜も明けきらぬうちから自転車を走らせたことも今では思い出となっています。

林田 祐真
(高63)

天草高校OBの皆様や天草出身者の皆様の御寄附により、毎年、奨学金を給付しています。

ご協力に感謝申し上げます。

皆様からの心のこもったご寄附金が大きな手助けとなっています。ありがとうございます。

1,000円から
何口でも結構です

郵便局に備え付けの払込取扱票に、東京天草育英会の口座記号・口座番号(00100-4-362127)を、そして加入者名の欄に「一般財団法人 東京天草育英会」とお書きください

一般財団法人 東京天草育英会 理事長 園田峯生

☎03-6261-5598 URL <http://amakusa-ikueikai.com>

〒102-0093 東京都千代田区平河町2-5-7 ヒルクレスト平河町501号

天草の「ジョン万次郎」 55年の米国暮らしから帰国

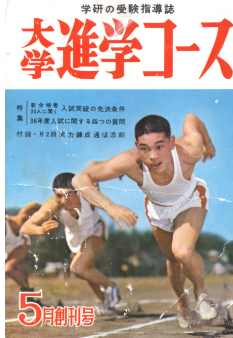
西川 軍一(高10)



「陸の王者」中
央大へ
私の青春は陸
上競技一色でし
た。天高時代は

グラウンドもクラブがひしめき合っ
て100mしか走れず、よく十万山
に行っていました。それでも静岡国
体(1957年)で100m2位と
なり、大学も当時トップを走って
いた中央大にスカウトされ、陸上部に
入りました。

2年生の時、3陸上部(日大、中
大、リツカー)対抗陸上競技大会の
100mに出て大会新記録で優勝
(10秒7)。200mでも優勝し
ました。3年生の時、当時の陸上競
技の全日本選手権だった一般・学生
対抗陸上競技大会の100mで優勝
(10秒8)。他にも天皇賜杯学生
選手権400mリレーで優勝、熊本
国体200m優勝と成績を重ねまし
た。自己記録は10秒5です。オリ
ンピック選手候補にも選ばれ、合宿
に参加したこともあります。



中央大時代に
大学受験誌の表紙に掲載

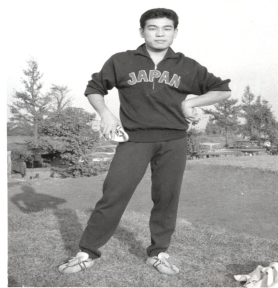
競技大会100mに出て業界新記録
で優勝しました(10秒6)。翌年、
社長から表彰状をもらいました。

「天草魂」で練習一途

昭和30年代、東京に出たからに
は天草には一生帰れないという覚悟
でした。夏休みに他の学生が帰省す
るのを知って驚いたほどです。大学
の寮に住み、練習は1日3時間。食
事は飯、漬物、みそ汁でした。肉を
食べたいと思っても、あったのはせ
いぜい焼き鳥で、焼き肉などはあり
ませんでした。私は金もなく、根性
でがんばりました。「天草魂」です。

めずらしかった渡米

私が渡米したのは1967(昭和
42)年で、1ドル=360円、日
本からのドルの持ち出しは500ド
ルに制限されていた時代でした。目
的は陸上コーチングの勉強です。そ
れから一度帰国し、改めて仕事をし
ながら勉強するために渡米しました。



1960年一般・学生対抗陸上競技大
会(全日本選手権)にて、優勝

行った先はカリフォルニアです。

夜間の英語教室に通い、いくつか
仕事をした後、ガーデニングの会社
を経営するようになりました。ロサ
ンゼルスでは郊外に家をもつ人が
多く、庭の管理が必要なのです。会
社では30人ほどを雇っていました
が、ほぼメキシコ系の人たちでした。
みな一生懸命仕事をする人たちで、
私も彼らを信頼していました。

若い時期、視野を広げ、チャレン
ジ精神を試すのにアメリカ、とくに
ロサンゼルスはすばらしいところ
です。

一方で、アメリカ社会には差別も
あります。ただ、私が住んでいたモ
ントレーパーク市はアジア系、中で
も中国系アメリカ人が多いところで、
とくに差別は感じませんでした。私
も中国語を習い、彼らをカラオケ同
好会に誘いました。私はDJジャース
のファンでもありました。

妻は岡山出身の日本人で、日本語
で通じ合う仲でした。私たちは子ど
もの教育こそ大事と考えていました。
2人の子どもはカリフォルニア大を
出て、息子は教師、娘はカウンセラー
になりました。娘は高校のホームカ

ミング(同窓生の集い)で日系人で
初のクイーンに選ばれました。10
年前妻に先立たれ、老後は日本で暮
らそうと3年前に帰国しました。

「浦島太郎」の帰国

生まれ故郷の天草のことは一日も
忘れたことはありませんでした。帰
国後、最初は天草、坂瀬川に戻りま
した。親の墓参りをしたときは涙が
出ました。しかし、坂瀬川で高齢男
性が一人暮らしをするのはむずかし
いと感じ、学生時代に暮らした東京
に居を構えることにしました。

55年も日本を離れていると、さ
すがに自分は「浦島太郎」だと思
うときがあります。道には迷うし、英
語が先に出てくることもあります。
自分は本当にここにいるのか、夢の
中にいるのではないかという感覚が
あります。プリトリー(肉や野菜をト
ルティーヤで巻いたメキシコ料理)
やタコス、ピザ、ハンバーガーを恋
しく思い出します。コーラを飲むと

なつかしささえ感じ、笑ってしま
います。

今いるところは食事が出る自立型
高齢者用マンションですが、自分
も料理をします。やつぱり魚です
ね。昔、坂瀬川では海で釣った魚を食
べていました。今は刺身、かれいの煮
付け、あじの(開きの)塩焼きをつ
くり、ビールや酒1合ぐらいを飲
みながら、食べるのが楽しみです。
関東あまたか会の活動には昨年の
春から参加しています。どうかよろ
しくお願いします。



1988年、高校のホームカミングでクイーン
に選ばれた娘と



家族4人の写真



息子の結婚式

懸命に生きた人生を振り返って 満洲から天草、そして東京へ

堀 青子（高4）



満洲から必死の
引き揚げ

私は当時新聞
記者だった父の
赴任地、旧満洲

の南部で生まれました。やがて北へ
と移動して牡丹江（ぼたんこう）で
小学生となり、小2の時に太平洋戦
争が勃発しました。

満洲では終戦3ヶ月前にソ連が参
戦。牡丹江へも侵入し、残り僅かな
日本の民間人の男性を捕虜として連
れ去りました。シベリアで森林伐採
の使役要員とするためでした。残さ
れた女・子どもたちは、とくに女性
に対する非人間的、屈辱的な行為も
あり、南へと逃げました。

逃げる途中、突然動かなくなった
列車から降りて、既に人がいなくなっ
た小学校の講堂になだれ込みました。
そこで、リーダー格の男性から最後
の食糧と手榴弾を渡されました。乾
パンを食べながら泣きました。

突然次の駅から列車が出るとの報
があり、慌てて外へ飛び出しました。
灼熱の線路を歩き続けた先に待って
いたのは無蓋貨車でした。落ちない
ように肩を組み、揺られながら終着
の地に着きました。

そこで旧日本軍の厩舎に捕虜とし
て収容されました。一日一食のスー

プには数斤の羊肉と野菜が浮かんで
いるだけ。収容所では朝、日本人男
性2人がスコップと担架を抱えて亡
骸を近くの山に葬るために門を出て
行きました。

2ヶ月ほどして帰国が決まり、葫
芦（ころも）島から軍用貨物船の船底
に乗り込むことができました。

食糧難の中、学校へ

2週間ほどかけて初めて祖国日本
の地を踏むことができ、やっと家族
7人で両親の故郷天草に辿り着きま
した。それからの生活はお米と味噌
は配給されたものの、物凄い食糧難
でした。遠浅の海岸でカキを打ち、
岩陰のタコを突き、あおさを削って
食を補いました。

しばらくして唯一学業半ばだった
末娘を案じて、父は苦しい中私を本
渡高等女学校へ転入させました。通
学は無理だったので、女子寮へ入り
ました。やがて六三三制の学制改革
で天草中学と本渡高女が合併し、男
女共学が始まりました。あまりの衝
撃と異性への関心で授業など上の空
でしたが、熱意ある先生方のご指導
で生徒たちの学力も伸び、実力考査
10番以内になると、国立のトップ
大学に進学できるほどでした。

外資系に就職

昭和27年に卒業すると私はつて



四天会（天高4回生の会）2014年5月20日

を頼りに上京して、紹介されていた
外資系コンサルタンの面接を受け
たのですが、面接官のマナージャー
は田舎娘のド根性に圧倒されたのか、
「若いからすぐ馴れるさ。OK」と
言い、即決で採用されました。ま
ったく経験のない英文タイプの仕事で
したが、若かったので怖いものは何
もなく、憧れと挑戦する喜びの方が
大きかったと思います。毎日が挑戦
と努力の連続でしたが、すぐにコツ
を得て楽しくなりました。証明書の
英文は全部暗記しました。ただ、週
2回の電話当番は顔が見えない英会
話が少し不安でした。

社長は米国人、他に数人の外国人
がいて、日本人30名ほどは経験の
あるインスペクターでした。後に社
長はケネディ大統領から日本への貢
献を認められて政務次官に任命され
ました。帰国するとき、社員全員の
似顔絵を漫画家の清水崑さんに描い
てもらい、持って帰られました。

昔の丸の内界隈

私が上京した当時の東京は路面電

車が走っていて、私も下宿の板橋か
ら馬場先門まで1時間かけて通勤し
ていました。赤レンガの三菱仲八号
館の近くには古びた4、5階建ての
旧都庁があり、今とは違って落ち着
いた雰囲気がありました。

ノスタルジアを胸に

現在は、短歌をライフワークとし
ていて、我流ながら毎日歌壇賞を得
ることができました。自称「無所属
我流派」の歌人です。56年連れ添っ
た哲学好きの夫は5年前に他界しま
した。想像を絶する喪失感は今でも
消えることはありません。夫が残し
たキルケゴールの死の哲学を読んだ
りしています。私にとって天草は数
年を過ごしただけの故郷ですが、青
春のノスタルジアに包まれた天草へ
の思いは誰にも負けないつもりです。
最後に、戦争を経験した私には今の
平和が眩しく思えます。平和の大切
さをしみじみと感じています。最後
に実体験を詠んだ短歌を添えます。
(いずれも毎日歌壇特選)

引揚船海へと葬る亡骸の
網を持つ母汽笛に放つ
ひまわりの根に花ござのおま、ごと
機銃掃射を逃れいしひと、き

5万m²の広大なリゾート

ALLEGRIA
ホテル アレグリアガーデンズ

〒863-0001 熊本県天草市本渡町広瀬996
TEL (0969) 22-3161

http://www.hotel-alegria.jp

新型コロナウイルス等の関係で天草へ帰郷を検討されている皆さん

めぐみ保育園で一緒に働きませんか?

問合せ 電話0969-23-7334(担当:金子)

〒863-0038 熊本県天草市南町6-9

尼港（ニコウ）事件殉難者碑とからゆきさん

嶽本 新奈（高49）



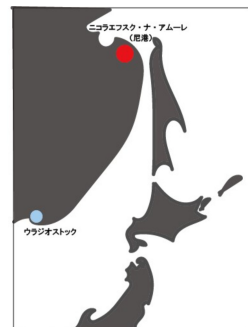
「からゆきさん」という言葉を知ったことはありますか。もしかしたら山崎朋子さんの

『サンダカン八番娼館』（1972）や森崎和江さんの『からゆきさん』（1976）を読んだり、または『サンダカン八番娼館』を映画化した『望郷』（1974）を観たりした方もいるかもしれません。ごく簡単に説明するならば、「からゆきさん」とは、海外に（出稼ぎ）に行き性売買を経営的営為としていた女性たちを指します。私はこの「からゆきさん」の歴史研究をしています。山崎さんや森崎さんの著作は、多くの「からゆきさん」の出身地だった天草で、元「からゆきさん」だった女性たちから聞き書きをしたものです。どちらも1970年代にベストセラーとなり、特に映画となった『望郷』は多くの人に強い印象を残しました。



そもそも「からゆきさん」はほとんど資料に出てこない存在です。けれども、その「からゆきさん」の名前が公に刻まれた事件がありました。1920年に起きた尼港事件です。尼港事件とは、日本がロシア革命勃発に際しロシア政府側を支援する目的で行ったいわゆるシベリア出兵中に、黒龍江口の尼港（ニコラエフスク・ナ・アムール）を占領していた日本軍が、当地のバルチザン（革命側赤軍）と結んでいた停戦協定を破り奇襲作戦に出たところ、バルチザンに守備隊はもとより非戦闘員の居留民も殺されたといわれる事件です。

当時この地で生活していた天草出身の人々も多く亡くなりました。ただし、バルチザンによって殺害されたというのは当時の日本政府や軍部の見方であり、ロシア史研究者の原暉之は現地入りした外務省書記官の報告を基に、「日本人居留民の多くは決起の巻添えを食って戦死」と指摘しています。「決起の巻き



尼港（ニコラエフスク・ナ・アムール）の位置

添え」とはわかりにくい表現ですが、要するにバルチザンによって殺されたわけではないことを意味しています。その悲惨な例として、自分が逃げるために足手まといになる数十人の酌婦たちをピストルで殺した日本人楼主のエピソードを紹介しています。いずれにせよ尼港事件で「からゆきさん」を含めた多くの人々が殺され、普段資料に出てこない「からゆきさん」の名前が刻まれたのが尼港事件をきっかけに建立された殉難者碑でした。

殉難者碑は沿海州ニコラエフスク市を含めて8カ所に建てられています。この内の島原と天草に建立された殉難者碑に「からゆきさん」であった女性たちの名前が刻まれています。天草の殉難者碑は五和町手野の東明寺にあります。1937年に建立されたこの碑には尼港事件で亡くなった天草出身の人々の名前が110名ほど刻まれており、女性の名前も多々あります。外務省資料には「娼妓」、「酌婦」、「妾」と記載されています。「からゆきさん」だった女性たちです。

日中戦争がはじまる年に建立されたこの碑には、尼港事件での死が

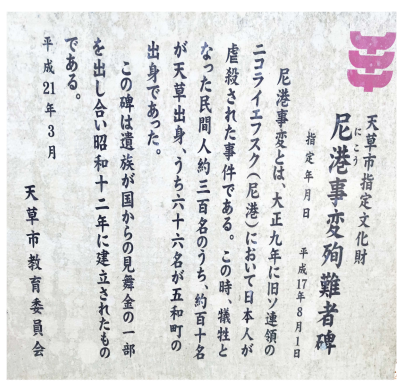


五和町手野の東明寺の殉難者碑

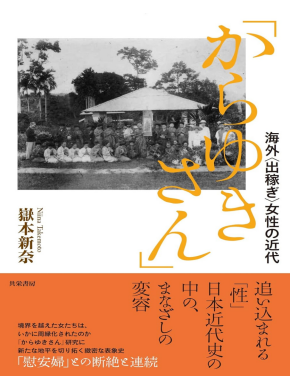
「尊き犠牲」であり、その犠牲によって得た北樺太の利権は国家に対する「貢献」として謳われています。当時の帝国主義的な雰囲気伝わってくる碑文です。

ですが、ここでは日本軍の「決起の巻添えを食って戦死」した人々の死が国家と結びつけられたときに忘却されてしまうものを考えたいと思います。それは人々が現地で築いていた他民族との関係性です。たとえば、次のようなエピソードが当時の帝国日本になじまなかったであろうことは想像に難くありません。「辛うじて死をまぬがれたのは、わずかに、六十二歳になる毛皮商人一人と長崎出身の婦人一人、その子供二人全部で四人のみであった。（中略）婦人とその子供は、いったん投獄されたのだが、知合いの中国人が、『支那人の妻と子だ。』と、偽りの証言をしてくれたおかげで助かったのである」（北野典夫『天草海外発展史 下巻』）。

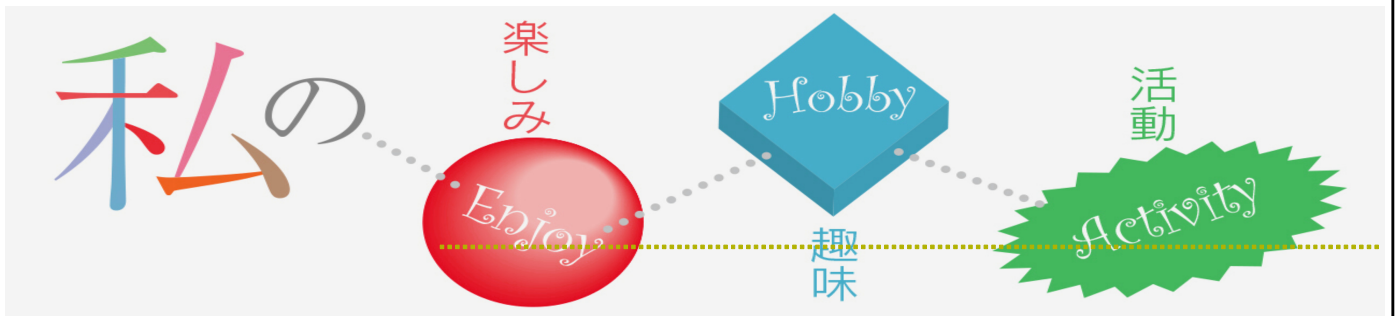
シベリア出兵や尼港事件は政治史や戦史といった国家の枠組みを所与のものとしている研究がほとんどです。国家的枠組みを前提とした思考



天草市指定文化財 尼港事変殉難者碑



2015年共栄書房から発刊



超限界集落に地域資源でつくる ゲストハウス

西山 真璃子 (高60)

私は建築家として天草と東京の二拠点生活をしています。実家は本町八久保地区の集落。天草の方でも驚かれる山奥です。冬は雪に覆われ、山から降りられないこともあり。10年ほど前に父が他界し、遺品を整理していく中で、この集落が祖父の代に大変な苦勞をして開拓された土地であることを知りました。その後帰省の度に、人の出入りがなくなった場所が徐々に自然に埋もれていく様を目の当たりにしました。開拓当時18世帯あった集落も今では4世帯。このままでは山に飲み込まれ、祖父達の苦勞が無駄になってしまう、私の代でどうにかしなければ、と思い立ちました。

そこで、秘境のような立地、自然溢れる山の風景を活かし、都会の喧騒に疲れた人が自然に癒され、飾らない山の日常を体験できるゲストハウスをつくる計画をしています。地域のお年寄り「ここには何もなか」「長く住んでいると良いところがわからん」と言われますが、外の方が来訪することで、当たり前風景に価値があると、地元の方々知ってもらえる機会になればと思います。

ゲストハウス実現のためクラウドファンディングによる支援を募っています。目標金額は100万円。金額に応じて様々なリターンを用意しています。応援して下さる方はQRコードの専用サイトからお申し込みいただくか、下記必要項目を記入し、郵送・FAX・メール等で事務局にお送りください。その後、未記の口座へのお振込をお願いします。

【必要項目】①お名前 ②ふりがな ③ご寄付コース ④コースの口数 ⑤郵便番号 ⑥住所 ⑦電話番号 ⑧メールアドレス(お持ちの方のみ) ⑨応援コメント

【申込書類送付先】〒860-0807 熊本市中央区下通1-9-9
株式会社グローバル・クラウドファンディング『天草のゲストハウス
INN FOG』事務局宛
FAX: 096-201-3610
Email: info@glocal-cf.com
電話: 096-201-1851
振込先: 肥後銀行 本店営業部 普通預金 2574025
口座名義: 株式会社グローバル・クラウドファンディング



母屋の建物



QRコード

絵との出会い

土井 光廣 (高14)

図らずもこの度投稿の依頼を受け、少々戸惑いましたが、最初で最後と思ってお受けしました。

描くことは小さいころから好きだったので、家の壁や押入れの戸板に“落書き”をしておこられた覚えがあります。

私の絵との出会いは小学校での体験によるところが大きいと思っています。

確か、小学校入学の年、鬼池ご出身の池崎圭吾先生が坂瀬川小学校の校長に就任され、5年生の時まで在任されました。先生は水彩画の大家で、校内写生会や作品展が毎年催されたと記憶しています。

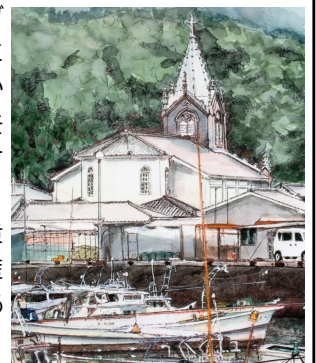
校長室に1枚の絵が掛けてありました。子ども心にもその絵に感動して見入ったことを覚えています。それは校長先生が描かれた学校の中庭の風景画でした。(当時の坂瀬川小学校は木造2階建ての「コ」の字型で、周りは桝檀の木、中には水蓮の大きな池のあるとても美しい校舎で、郡内外から多くの方々が見えたそうです。)

学校では毎年写生大会や作品展があり、高学年になると校長室でみんなの作品を並べてお話をしてくださることもありました。

中学校卒業後、いろいろ紆余曲折を経て昭和43年横須賀市の小学校に就職しました。それまでは絵や美術とは縁のない生活でしたが、初任校が図工科の研究をしていたこともあり、教職員の図工サークルや研究会に入りました。よき先輩方に恵まれ、いろいろと教えていただきました。平成15年に定年退職。退職後の20年余は「光陰矢のごとし」で、なんとか傘寿もクリアできました。“人生百年時代”といいますが、これから先何年元気で生きられるか、余命は“神のみぞ知る”です。

現在、市内の小さなグループ展と美術協会展に出品しています。これからも絵と仲間と“お酒”を友にして少しずつ描いてみようと思っています。

小学校でいただいた貴重な体験と丈夫な体に産んでくれた泉下の親にあらためて感謝です。



船のある景色＝天草崎津教会 (2022.9)



天草高校便り

今年の生徒の活動状況

生徒会長 北野 睦実（2年生）



現在（11月下旬）の天草高校では、1・2年生の期末考査、3年生の学年末考査が終わり、持久走大会の練習が始まろうとしています。また、2年生は12月11日～14日にある修学旅行に胸を高鳴らせ、3年生はそれぞれの進路実現に向けて、朝早くから放課後まで、受験勉強、面接練習を行い、互いに刺激し合いながら頑張っています。

さて、今年の9月に行われた文化祭は、昨年度に引き続き、制限のない形で2日間行われ、多くの一般の方がご来場されました。生徒会は「煌風～繫げ絢色の青春～」のテーマのもと、特に、生徒が楽しめるように、輝けるようにと、学校を装飾したり、校内でCDをかけるようにしたりと、新しいことに挑戦しました。また、今年は昨年度の経験もあり、それらを生かしながら、先生方と協力して準備に取り組むことができました。ステージ・装飾・食品、それぞれの部門での生徒の活躍はめざましく、また、有志発表者も多く、大いに盛り上がり、生徒やご来場の方々からは、「楽しかった!」「天高の文化祭よかったね。」というお声をいただき、1学期から準備をしてきた私たち生徒会にとって、とても嬉しいことだと感じています。来年度の天高の文化祭もどうぞご期待ください。

さらに、部活動も活発に活動しています。男子ソフトボール部からは、4名の選手が熊本県代表として、国民スポーツ大会 SAGA 2024少年ソフトボール競技に出場し、九州ブロックで優勝、その後、見事準優勝を収め、熊本県代表は全国2位となりました。科学部は、新たに1年生が加わった化石班が、生徒理科研究発表会で最優秀賞3位となり、12月に行われる九州大会に出場します。その他の部活動も、好成績を収めており、それぞれ目標に向かって日々精進しています。

私たち生徒会は、生徒の代表として活気のある天草高校を創り、守っていきたくと思っています。天高生の活躍は、天草高校のホームページで随時確認できますので、見守っていただけると幸いです。



文化祭での合唱



文化祭での書道部の書道パフォーマンス

天草便り

第79回熊本県民体育祭天草大会 ～11年振りに天草地域で開催～

西田 勝年（高12）

令和6年9月14日、15日及び21日、22日の4日間、天草市・上天草市・苓北町を主会場に第79回熊本県民体育祭天草大会が開催されました。（一部競技、熊本市等で実施）

熊本県民体育祭は、熊本県民最大のスポーツイベントであり、天草2市1町では、11年ぶりに天草地域で開催される本大会に「海風に 競え つながれ 天草県体」をスローガンとして選手・役員のみならず、応援でお越しになられる皆様も一つになる大会を目指し、天草全域を挙げて開催に取り組みられました。

豊かな自然環境に恵まれたここ天草に県内各地から延べ6,200人の選手、役員が集まり、公開競技を含め20競技が

実施され、各競技会場では、各郡市の代表選手による熱戦が繰り広げられました。応援者、観客者共々盛り上がりました。

今年は天草大会ということもあって、天草2市1町の各チームは1位のほか、上位入賞するなど、前回以上の優秀な成績を収めました。

第79回熊本県民体育祭天草大会については、動画でご覧いただけます。お知り合いの人が活躍されている様子を見ることができるかも。

（資料提供：第79回熊本県民体育祭天草大会実行委員会事務局）



大会開会式（選手宣誓）



陸上競技（会場：あましんスタジアム）



サッカー競技（会場：苓北町サッカー場）

ご理解・ご支援・ご協力を賜り、誠にありがとうございます

令和6年度年会費を納入された会員の皆様

Table listing members who paid the 2024 annual fee, including names, addresses, and phone numbers.

令和6年度年会費に加えて、ご寄附を賜りました会員の皆様

Table listing members who also made donations in addition to the 2024 annual fee.

今年度までに令和7年度年会費を納入された会員の皆様

Table listing members who have paid the 2025 annual fee up to this year.

お名前のご記載漏れや間違いがありましたら、お手数をお掛けしますが事務局までお知らせください。

令和6年度会計報告

令和7年度予算報告

令和6年1月1日～令和6年12月31日

令和7年1月1日～令和7年12月31日

Financial reports comparing the 2024 actual account and the 2025 budget, showing income and expenses.

令和7年度(2025年度)総会・友好の集いのご案内

元気をもらった！あつという間の3時間だった！なつかしい天草の物産が買えた！

年に1度の総会・友好の集いには、90才代の大先輩から新卒者まで、さまざまな世代の方が参加されます。友だちがいない、という方でも心配はご無用です。楽しいプログラムをこなしているうちにお知り合いができます。思わぬ人との出会いもあります。総会では母校の先生を来賓に迎え、最近の天高の事情を伺います。また、友好の集いでは全員がステージで自己紹介をし、牛深ハイヤ踊りで体を動かし、「故郷」や校歌を歌います。好評の天草物産販売は大賑わいです。深まり行く秋の日のお出かけとして、是非ご予約に入れておいてください。

1. 日時：令和7年（2025年）11月1日（土）12:00-15:00
2. 場所：スクワール麴町（電話 03-3234-8739）JR四ツ谷駅前

詳細は、会報49号にてお知らせいたします。

総会・友好の集いの内容などについてお知りになりたい方は事務局までご連絡ください。

令和7年度年会費の払い込みのお願い

令和6年度会計報告は11頁に記載のとおりです。例年、年会費の納入率は2割程度となっています。当会は会員の皆さんの会費及び寄附によって運営されており、役員・事務局は全員ボランティアで活動しています。是非、会費の納入をお願いいたします。令和7年度年会費（2000円）及び寄附金納入は、同封のゆうちょ銀行の払込取扱票（振込手数料は会で負担）をご使用ください。振込取扱票には、住所・氏名をご記載ください。

また、ゆうちょ銀行やその他の銀行口座からATMやインターネットを通じてのお振り込みも可能です。その場合は、以下の口座情報をご指定ください。

1. ゆうちょ銀行から振り込む場合
 - ・口座記号番号：00180-6-487424
 - ・口座名義：関東あまたか会
2. 他の銀行から振り込む場合
 - ・銀行名：ゆうちょ銀行
 - ・口座名義：関東あまたか会
 - ・店名（店番）：〇一九（ゼロイチキユウ）店（019）
 - ・預金種目：当座
 - ・口座番号：0487424

会報49号（9月刊）へのご寄稿をお願いします

編集委員会では会報49号へのご寄稿を募集しています。会報では、会員の消息・近況、高校時代の思い出、人生の苦勞話、旅行記、随筆、学年同窓会の報告の他、暮らし・仕事・楽しみ・活動などについて、多彩なコーナーを用意し、皆さんの文章をお待ちしています。

文章が苦手という方でも編集委員会の方でしっかり編集しますので、ご安心ください。どんな話題でも結構ですので、書いてみたいと思われる方は、一度事務局まで電話・メール・郵便などでご連絡・ご相談ください。

事務局：松野明久
〒160-0007 東京都新宿区荒木町10-30-501
携帯：090-3272-4383（LINEもやっています）
Email：akimatsuno@mac.com

謹んで哀悼の意を捧げます。	高23	高19	高16	高14	高12	高12	高10	高9	高8	高8	高7	高7	高6	高6	高4	高2	定時	天中	天中	高女	高女		
	平田	宮本	松岡	松森	伊藤	福田	吉田	武部	村崎	塚原	宮崎	黒澤	荒木	若杉	古屋	松浦	池田	鈴木	濱崎	井上	岡部	秀子	
	勤	國則	敏治	(杉本)	(野嶋)	靖	稔	勝郎	徳之輔	(原田)	正志	淳	克也	譲次	(大谷)	康一	泰治	義明	吉之	フク卫	(松下)	様	
	(令和5年5月)	(令和4年8月)	(令和6年11月)	(令和3年7月)	(令和6年)	(令和4年)	(令和6年2月)	(令和6年1月)	(令和6年8月)	(令和4年6月)	(令和6年5月)	(令和5年12月)	(令和6年5月)	(令和6年1月)	(令和5年)	(令和6年5月)	(令和6年)	(令和6年7月)	(令和5年)	(令和6年10月)	(令和6年5月)	様	
				マサミ	美智子						美智代				輝子								

この1年間に逝去のお知らせを受けた方をお知らせいたします。
()は旧姓

訃報のお知らせ

編集後記

松野 明久(高27)

冬に入って厳しい寒さが身にしみ始めるようになると、初めて東京の冬を経験したときのことか思い出されます。高校2年生の秋の修学旅行で上京するにあたり初めてコートを買ってもらいました。天草ではコートなど必要なかったからです。大学生となって最初の冬。まだ冬の始まりの頃、ダツフルコートを買って完全防備で大学に行ったところ、「君だけ冬だね」と新湯出身の同級生に笑われました。今でも寒いのは苦手です、早く春が来ないかなと思います。

関東に暮らすようになってすっかり鍋ものの頻度が高くなりました。駅を出て北風に向かう道を歩いて帰宅した後など、確かに鍋ものはありがたいと思います。鮭や鱈といった天草では食べたことのない魚もよく食べるようになりました。でもやっぱり食べたことのないのは鱈のつみれ鍋でしょうか。「かまぼこ」と呼んでいました。鱈の身をたたいて、さらにすり鉢でする母の手伝いをしていたのが思い出されます。

いろいろな感染症が蔓延するこの頃。暖かくして健康にお過ごしください。

ホームページについて
パソコンまたはスマホにて、Google等の検索機能で「関東あまたか会」と入力し、検索するとご覧になれます。また、スマホからは、下記の「QRコード」を読み取ってご覧ください。

